

牛群検定通信 No34

◇過搾乳になっていませんか？◇

過搾乳が体細胞数の増加を招き乳房炎の原因となることは、すでに検定農家の皆さんはご承知と思います。マシンストリップング（あと搾り）は厳禁であることも既に常識と思います。しかし、例えば、自動離脱だからといって安心はできません。もしかしたら調整が狂っているかもしれないからです。また、ライナースリップが頻繁に起きるようであれば、ライナーの劣化なども考えられますし、そもそもの真空ポンプが調整不足になっていることもあります。こういったことは、すべて搾乳時間を長時間化させ、過搾乳の原因となります。今回は、検定成績表を利用した簡単な過搾乳のチェック方法をお知らせします。

（１）過搾乳とは？ ～その１～

過搾乳という言葉は、簡単そうでちょっと難しい言葉です。言葉どおりであれば「搾りすぎ」ということになりますが、乳房炎の原因となる過搾乳は、少々意味合いが異なります。

（２）過搾乳とは？ ～その２～

乳牛は、前搾りなどで乳房に刺激を受けると、脳からオキシトシンというホルモンが分泌され１分～１分３０秒後に牛乳を射乳する準備が整います。しかし、このホルモンの効果は５～６分間と大変に短いものです。本来、搾乳はこのオキシトシンというホルモンの力のもとで行われるものなのです。つまり、５～６分以上ミルカーが装着されていれば、すべて過搾乳であると判断されます。また、注意すべき点は前搾りです。前搾りをして直ぐにミルカーを装着することも、まだオキシトシンが分泌されていせんから過搾乳に相当します。前搾り後の１分～１分３０秒にミルカーを装着しなければなりません。

(3) 検定成績表を見てみよう！

過搾乳による体細胞数の増加は、泌乳後期に現れることが知られています。

・様式AまたはB

1枚目の成績表（牛群成績）の、左下に記載されている検定日乳量階層をチェックしてください。初産、2産以上ともに分娩後日数が進んだ300日以上の欄の体細胞数が他の欄と比べて大きい場合は過搾乳を疑ってください。

・様式A

2枚目の成績表（個体検定日成績）は、分娩後日数順に牛が並んでいます。分娩後日数が進んだ泌乳後期にばかり体細胞数が高い▲マークの牛が沢山いる場合は、過搾乳を疑ってください。

・様式C（従来の成績表）

検定日の記録の体細胞数が高い#マークの牛を先ずチェックします。この体細胞数の欄の右となりに搾乳日数が出ています。もし、泌乳後期の牛ばかりに#マークが出ているようでしたら、過搾乳を疑ってください。